

事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	上水道事業の充実	担当部署名	上下水道部 浄水課	担当課長名	朝野武彦
事務事業名	(※)第1期実施計画の事業名 浄水施設更新事業	(※)第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	3061	1	
	財務会計上の事業名	財務会計上の短縮番号			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

事業区分	<input type="checkbox"/> サービス事業	<input type="checkbox"/> プロジェクト事業	<input type="checkbox"/> 定型事業	<input checked="" type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計	<input type="checkbox"/> 特別会計 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 企業会計 (水道事業)	
事業の対象【誰(何)を】	古江浄水場の各施設			
事業の手段【どうする(させる)ことで】	電気設備、機械設備の更新			
事業の目的【どのような結果を得るか】	浄水施設の長寿命化も図りながら、計画的に浄水施設を更新し、安心安全な給水に努める。			
実施期間	<input type="checkbox"/> 継続 (平成 年度 ~)		<input checked="" type="checkbox"/> 時 限 (平成23年度~平成26年度)	
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 未 実施	
※見直し内容を記入				
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度	<input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度	<input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度	
※根拠となる法令の条項までを記入				

2 事業コスト・指標値の推移

区分	23年度 (決算)		24年度 (決算)		25年度 (決算)		26年度 (予算)		H25/H24	
	事業費(千円)	17,319		152,503		490,964		493,900		321.9%
人件費(人・千円)	0.30	2,400	0.50	3,900	0.50	3,900	0.50	3,900	100.0%	
事業コスト等 内訳	正職員	0.30	2,400	0.50	3,900	0.50	3,900	0.50	3,900	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A	19,719		156,403		494,864		497,800		316.4%	
財源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	19,719		156,403		494,864		497,800		316.4%
受益者負担率 B÷A										-

区分	内 容	単位	23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (予定)	目標値 (H26)
(1) <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	施設の更新工事の実施率	%		13.4	56.5	100	100
(2) <input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	古江浄水場の機能更新率	%	1.8	14.9	57.2	100	100
(3) <input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4) <input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している	<input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない	<input type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善	<input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続	<input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	平成23年度に工事の実施設計、平成24年度に工事の発注が完了。工期についても、3ヶ年にて事業が完了する予定。		

(参考) 今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済	<input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能	<input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	事業が主に民間に発注する工事であり、工程管理、既設との取り合い調整等は職員で行う方が望ましい。			

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考) 昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
安心安全な水を安定して給水するため、施設整備計画に基づき事業を継続。	事業費の削減を図りながら、施設整備計画に基づく効率的な事業を継続実施。

事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名		上水道事業の充実	担当部署名	上下水道部水道工務課	担当課長名	桐山 元彦
事務事業名	(※)第1期実施計画の事業名	配水施設更新事業	(※)第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	3061	2	
	財務会計上の事業名		財務会計上の短縮番号			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

事業区分	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input checked="checked" type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input checked="checked" type="checkbox"/> 企業会計 ()
事業の対象【誰(何)を】	老朽化した配水管(耐用年数40年以上経過管)
事業の手段【どうする(させる)ことで】	老朽化した配水管を耐震管に布設替する。
事業の目的【どのような結果を得るか】	有収率と耐震化率の向上により、収益と災害に対応出来る強固な管路の構築
実施期間	<input type="checkbox"/> 継続 (平成 年度 ~) <input checked="checked" type="checkbox"/> 時 限 (平成23年度~平成34年度)
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成 年度 <input checked="checked" type="checkbox"/> 未実施
※見直し内容を記入	
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="checked" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項 までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

区 分	23 年度 (決算)		24 年度 (決算)		25 年度 (決算)		26 年度 (予算)		H25/H24	
	事業費(千円)	136,696		211,250		220,539		284,000		104.4%
人件費(人・千円)	0.80	6,400	0.80	6,240	0.80	6,240	0.80	6,240	100.0%	
事業 内 訳	正職員	0.80	6,400	0.80	6,240	0.80	6,240	0.80	6,240	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支 出 合 計 A	143,096		217,490		226,779		290,240		104.3%	
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源	143,096	217,490	226,779	290,240	104.3%				
受益者負担率 B÷A										-

区 分	内 容	単位	23 年度 (実績)	24 年度 (実績)	25 年度 (実績)	26 年度 (予定)	目標値 (H26)
(1) <input checked="checked" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	老朽管の更新(耐震管に更新 3km/年)	m	2,024	2,928	3,349	3,100	3,000
(2) <input type="checkbox"/> 活動 <input checked="checked" type="checkbox"/> 成果	老朽管の残存延長(総延長約60km)	m	56,071	53,143	49,794	46,694	46,000
(3) <input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4) <input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input checked="checked" type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない
26年度取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="checked" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	昭和45年までの管を老朽管(約60km)と位置付けて、年間約3kmを計画目標として更新している。今後年間の更新延長の増を考慮しつつ事業を継続する予定。

(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="checked" type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	事業が主に民間に発注する工事であり、事業計画、工事調整等は職員で行う方が望ましい。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
<p>更新の年次計画を立て、有収率と耐震化率向上に向けスピードアップして、老朽化した配水管を耐震管に更新する事業継続。</p>	<p>他事業者(下水道・ガス等)と十分工事調整を図りながら、有収率向上と老朽化更新の優先順位を決定して事業継続</p>

事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	上水道事業の充実	担当部署名	上下水道部水質管理課	担当課長名	乾 弘志
事務事業名 (※) 第1期実施計画の事業名	水質検査体制強化事業	(※) 第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	3062	2	
財務会計上の事業名		財務会計上の短縮番号			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

事業区分	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的事業
会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input checked="" type="checkbox"/> 企業会計 (水道事業)
事業の対象 【誰(何)を】	水道水の水質検査
事業の手段 【どうする(させる)ことで】	自己検査項目の拡大及び水道GLPの維持
事業の目的 【どのような結果を得るか】	水質検査体制の強化を図り、市民からの信頼性を高める
実施期間	<input type="checkbox"/> 継続 (平成 年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 時 限 (平成23年度、平成25年度)
事業内容の見直し	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) <input checked="" type="checkbox"/> 未 実施
※見直し内容を記入	
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項 までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

区 分		23 年度 (決算)		24 年度 (決算)		25 年度 (決算)		26 年度 (予算)		H25/H24	
事業 コスト 等	事業費(千円)	408				585				-	
	人件費(人・千円)	0.95	7,160	0.00	0	0.95	7,410	0.00	0	-	
	内 訳	正職員	0.85	6,800		0	0.95	7,410		0	-
		再任用短時間勤務職員	0.10	360		0		0		0	-
		任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
		非常勤職員		0		0		0		0	-
		アルバイト		0		0		0		0	-
	支 出 合 計 A	7,568		0		7,995		0		-	
	財 源	国・府支出金									-
		受益者負担 B									-
その他財源										-	
一般財源		7,568		0		7,995		0		-	
受益者負担率 B÷A									-		

区 分		内 容	単 位	23 年度 (実績)	24 年度 (実績)	25 年度 (実績)	26 年度 (予定)	目標値 (H26)
指標 値	(1) <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	自己検査項目	項目	42	-	42	-	45
	(2) <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	水道GLP中間審査の実施率	%	100	-	-	-	100
	(3) <input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	水道GLPの更新率	%	-	-	100	-	100
	(4) <input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	水道GLPの更新を完了し事業を継続中。自己検査項目の追加(3項目)については、平成27年度に向けて準備を進めている。
(参考)今後のアウトソーシング 導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	日本水道協会より、水道GLPの審査を受ける立場のため。

4 担当部長が考える今後の方向性・見通し

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
安全な水を安定して供給するため、新規採用職員も含めた技術職員による検査体制の強化を図る。	

事務事業評価シート(25年度実施事務事業)

総合計画の施策名	上水道事業の充実	担当部署名	上下水道部 経営企画課	担当課長名	水越英樹
事務事業名 ※ 第1期実施計画の事業名	水道経営健全化事業	※ 第1期実施計画の 分類番号/事業番号/枝番号	3063	1	
財務会計上の事業名		財務会計上の短縮番号			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

事業区分	<input type="checkbox"/> サービス事業 <input checked="" type="checkbox"/> プロジェクト事業 <input type="checkbox"/> 定型事業 <input type="checkbox"/> 投資的的事业
会計区分(会計名を記入)	<input type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計 () <input checked="" type="checkbox"/> 企業会計 (水道事業)
事業の対象【誰(何)を】	水道事業
事業の手段【どうする(させる)ことで】	経営の健全化を図る
事業の目的【どのような結果を得るか】	安定給水と黒字経営の維持
実施期間	<input type="checkbox"/> 継続 (平成 年度 ~) <input checked="" type="checkbox"/> 時 限 (平成23年度~平成26年度)
事業内容の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 平成25年度 <input type="checkbox"/> 未 実施
※見直し内容を記入	企業債の償還期間の短縮、自己財源の有効利用による起債発行額の抑制
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠となる法令の条項までを記入	

2 事業コスト・指標値の推移

区 分	23 年度 (決算)		24 年度 (決算)		25 年度 (決算)		26 年度 (予算)		H25/H24	
	事業費(千円)									-
人件費(人・千円)	0.10	800	0.10	780	0.35	2,730	0.20	1,560	350.0%	
事業 内 訳	正職員	0.10	800	0.10	780	0.35	2,730	0.20	1,560	350.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支 出 合 計 A		800		780		2,730		1,560	350.0%	
財 源	国・府支出金									-
	受益者負担 B									-
	その他財源									-
	一般財源		800		780		2,730		1,560	350.0%
受益者負担率 B÷A									-	

指標値	区 分	内 容	単 位	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	目標値 (H26)
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	
(1)	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	黒字額(当年度純利益)	千円	135,548	231,405	291,555	▲ 373,000	0
(2)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(3)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
(4)	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							

3 成果の達成状況等

成果の達成状況	<input type="checkbox"/> A 目標に向かって順調に推移している <input checked="" type="checkbox"/> B 目標に向かって順調に推移していない <input type="checkbox"/> C 判断できない
26年度の取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 事業内容・手法を改善 <input type="checkbox"/> 2 現在の事業内容を継続 <input type="checkbox"/> 3 事務事業を廃止
選択の理由	経営健全化計画を策定し、起債の抑制、人員の削減を図っているが、平成26年度の地方公営企業会計基準の見直しによる退職給付引当金の義務化により、特別損失を計上したことに伴い、平成26年度は赤字になる見込み。平成27年度以降については黒字を確保する見込み。
(参考)今後のアウトソーシング導入の可否	<input type="checkbox"/> 1 導入済 <input type="checkbox"/> 2 事業の全てが可能 <input type="checkbox"/> 3 事業の一部が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 4 不可能
選択の理由	経営の健全化策を検討する業務自体は職員自らが主体的に実施すべきものである。ただし、経営健全化のための手段として、浄水場の運転管理やお客窓口の業務委託は可能である。

評価を踏まえた課題と対策	(参考)昨年度記載の「評価を踏まえた課題と対策」
経営の健全化を図るため、更なる経費削減に向け、浄水場の監視業務並びに営業課の業務の委託化に取り組む。	引き続き、給水収益の減少は、続いており、今後、現在開催している上下水道事業経営審議会において、水道事業のあり方について議論していく必要がある。